

本日学生大会大集会開催、対夏休みの強固なスト体制を打ちだせよ！

今日の破壊的な調査と討上決定自決禁固の目指し、17日向こむたる在住的なスト体制を実現してき文学部の学友諸君、この向一貫して、この戦闘的な争争を責任をもつて担当しこそを文部省事務局は、学友諸君に平日の学生大集会の大結集を呼びかけをしとおる。

今学生大会は斗う意志の

すが、多学生大会の任ムは、明確かつ月曜日の学生大会における長期スト決定に踏まえ、我々の見る主體の強化をかちとることである。

それ故、まずオード、この長期的な斗いの過程の中で、我々の内部に一定程度現出している「弛緩」した状況といふものを、今日の学生大会を一つの結果とすることによつて、再度の参國な意を一致をかちとることである。そして、オードその内容として、10日、11日の对教育学部教員会斗争を見らざるなど、前講義会大根

国交実現の可能性が一定程度明確くなつたみうち現在、討議田園へ向けて、その適確な方向性を具体的に確認することであろう。そして、オード、斗争の夏休み突入に迫つてある現在、要求費徹すでの断固として戻すことのないヨイモ、夏休み明けの九月中旬まで、ストライキ・本館封鎖の体制強化を基調として、とのヌウト進んでいくのかといつ向野康志、突然なハツキリと得てゐることとする、夏休み前の討議の中から明確にしていくのみで、そのヌウト進んでいくのかといつ向野康志、突然なハツキリと得てゐることとする、夏休み前の

我々の斗争の「自然前進」を自己人さるる学校当局に決定な打撃を与え、同時にこの斗争に若干内在してゐる他学部の「アキラメムーバー」を打破し、彼らのヨレく能力をイニベクトを与えるものであるといふことを説明可づきである。

我々のヨレの着実な前進の途上へ

日々学生大会は存在する

さて多学生大会は、我々の本館封鎖を多必強固なヨレによって切つ拓かれん状況のようすが必定に存在してゐるのだろうか。

それはオードとして、対教授会内とみける補

題を放題らのまでも

おれる問題は、この問題

施設での運動と、その他の問題

講義室の利用等と、その他の問題

授業入室所一日年生の問題

授業入室所一日年生の問題